

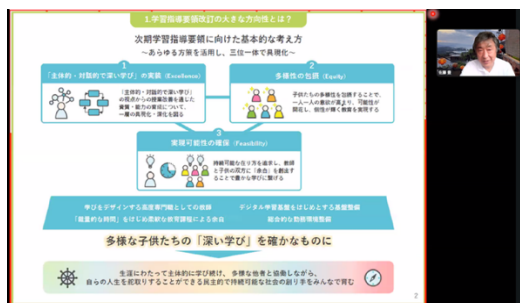
北信越体育・保健体育ネットワーク研究会「トキめきラウンド」

北信越体育・保健体育ネットワーク研究会「トキめきラウンド」を、6月20日（土）に対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、以下の内容で研修を行いました。



- | | | | |
|---|-----------|------------------------|----------|
| 1 | 開会行事 | | |
| 2 | 情報提供 | 中央教育審議会の動向 | |
| | | 桐蔭横浜大学 | 佐藤 豊 教授 |
| 3 | 話題提供 | 第65回全国学校体育研究大会新潟大会に向けて | |
| | | 新潟市立浜浦小学校 | 三本 雄樹 教諭 |
| | | 新潟市立沼垂小学校 | 竹松 譲 教諭 |
| 4 | グループセッション | | |
| 5 | まとめ | 桐蔭横浜大学 | 佐藤 豊 教授 |
| | | 日本女子体育大学 | 高橋 修一 教授 |
| 6 | 閉会行事 | | |

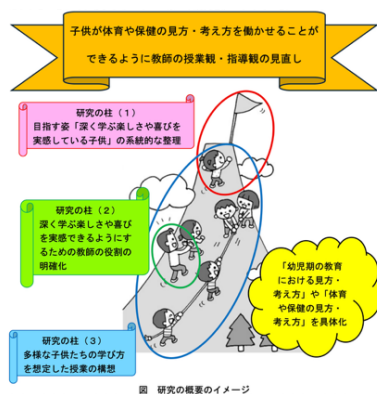
情報提供



佐藤豊先生から「中央教育審議会の動向」という演題で情報提供をしていただきました。

現時点で公開されている「教育課程企画特別部会」や「体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループ」の資料を基に、中核的概念（ビッグアイデア）や学習指導要領改訂の方向性、多様な子供たちの「深い学び」を確かなものにすること、体育・保健体育科の「高次の資質・能力」などについて、検討されている内容の経緯や、これまでの研究の成果を踏まえながら、詳しく解説をしていただきました。

話題提供・グループセッション

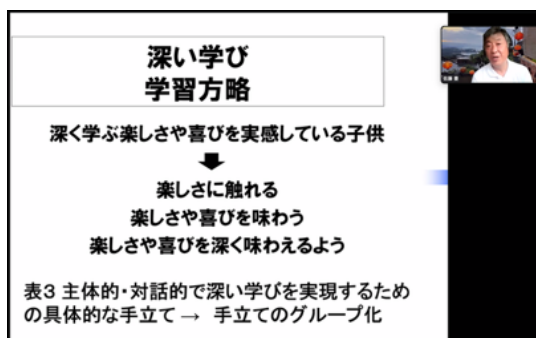


11月12日（木）と13日（金）の二日間で開催される「第65回 全国学校体育研究大会新潟大会」の大会主題のキーワードである、「子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる体育・保健体育学習」について、基調提案の内容や現在の進捗状況について、報告をさせていただきました。

佐藤先生から、「思いきって体を動かしながら、特性に迫る楽しさ」や、「何のために学んでいるのかを明確にすること」の大切さについて、ご指導をいただきました。

続けて行ったグループセッションでは、「深い学び」の具体的な子供の姿や、体育・保健体育の楽しさ、それを子供たちに実感させるために行っている具体的な手立てなどについて、校種を越えて意見交換を行いました。

まとめ



最後に、佐藤豊先生と高橋修一先生より、本ラウンドのまとめとしてご指導をいただきました。

佐藤先生からは、「学習への深いアプローチと浅いアプローチの特徴」や「学校で育てる能力の階層性」について、解説をしていただきました。高橋先生からは、高等学校における『『する』だけではない多様な関わり』や「目指すべきゴールの姿を想定する上で大切にしなければいけないこと」についてご指導をいただきました。

新潟大会をよりよい大会にするために、たくさんの学びをいただき、新潟ラウンドを無事に終了することができました。

（文責 三本 雄樹）